

令和5年度宇都宮市有林管理委員会議事録 会議録	
日 時	令和5年8月1日（火） 午後1時15分～午後3時00分
場 所	宇都宮市役所 14B会議室
出席者	<p>（委員）7名 稲川 透（栃木県東環境森林事務所森林部長補佐兼林業経営課長） 加藤 幸夫（栃木県木材業協同組合連合会 宇都宮支部長） 佐橋 正美（栃木県森林組合連合会 代表理事専務） 須田 操子（グリーンスタッフ 代表） 野口 光三（日光森林管理署 森林技術指導官） 福田 嘉男（宇都宮市森林組合 代表理事組合長） 吉村 祐一（とちぎ森林インストラクター会 副会長）</p> <p>（事務局）4名 枝課長，小林課長補佐，川田主任，高山技師 （市長代理） 曾澤次長</p>
欠席者	大久保 達弘（国立大学法人宇都宮大学農学部 教授） 利根山 則夫（宇都宮市林業振興会 会長）
公開・ 非公開の別	公開
傍聴者	1人
内 容	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第1 開会</div> 午後1時15分（進行：小林課長補佐）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第2 経済部次長あいさつ</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第3 委員紹介</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第4 議事(1) 会長・副会長の選任</div> 佐橋委員を会長に，福田委員を副会長に選任
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第5 会長あいさつ</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第6 諮問</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次第7 議事(2)「宇都宮市有林の更新等に関する実施計画」策定案について</div> <p style="text-align: center;">【事務局説明】</p>
野口委員	市有林はどのような形で販売しているのか。

事務局(高山)	一般的に、伐採した木材は売り払い収入を財源とし、施業に掛かった費用を差し引き、精算している。精算金は歳入としている。
野口委員	国の場合は、立木のまま、入札をかけて対処するが、市の場合は、丸太にして販売するという事か。
事務局(高山)	そのとおりである。
加藤委員	自分たちは、丸いものを四角くして扱っている業者である。 丸太はどこで売買しているのか。
事務局(高山)	宇都宮市森林組合に施業発注している。宇都宮市森林組合では、どこに出しているのか。
福田委員	直送販売である。栃木県森林組合連合会の共販所に出しており、各業者の入札により決定されているようである。規格外のものについては、発電用の燃料やチップとして利用されている。
吉村委員	市有林一覧の中で、今回の5年間の計画に出てこない森林があるが、これらの森林については、伐採は必要がないということなのか。
事務局(高山)	これらの市有林は、現計画の期間内において、皆伐を行った箇所であり、成長の度合いでの優位性を考慮している。
事務局(枝)	過去10～15年間の施業履歴を踏まえ、施業箇所の選定をしている。
佐橋会長	市有林全面積が175ヘクタールであるが、50年伐採期で考えると1年あたり約4ヘクタールで、5年間で約20ヘクタールとなり、かなり意欲的な取組内容となっている。カーボンニュートラルの実現に向けた意欲的な計画であると評価しているが、そのような理解でよいか。

事務局(高山)	そのとおりである。
佐橋会長	この計画案について、市民から意見を聞く機会は設けていくのか。
事務局(枝)	本日の会議で委員からいただいた意見を基に、答申とさせていただく。 この答申により、「宇都宮市有林の更新等に関する実施計画」を策定させていただき、市長あて提出していく。
事務局(高山)	本日いただいた意見を踏まえ、計画を策定していく上で、留意すべき事項については、「施業コストの削減と立木売払収入の増加に努めること」、「獣害対策に努めること」、「施業に対しては、安全確保と事故防止に努めること」、「森林の多面的・公益的機能の維持に努めること」と考えている。
佐橋会長	今の事務局の説明に対して、付け加えるような内容はあるか。
野口委員	獣害対策についてであるが、日光地域では、クマ・シカの被害が大きい。宇都宮市内では、古賀志山などにおいて、シカが増えてきている。シカなどが入ってくる前に、柵をつくるなどの対策を行いながら、早めに更新を行うのが良いと思う。
佐橋会長	経済合理性だけでなく、市有林の役割や公益的機能の維持を考慮した確実な更新をしてほしい。
野口委員	市民参加型の森づくりや森林の更新などの事例があれば知りたい。
事務局(高山)	株式会社SUBARUとの連携による森づくりの事例がある。今後も、市民参加型の取組について、検討していきたい。
事務局(高山)	この素案を基本として計画を策定していくが、本日いただいた意見を反映させ

	<p>ていただく。</p> <p>次第8 議事(3)「宇都宮市有林の更新等に関する実施計画」(案)の策定に関する答申案</p> <p>【事務局説明】</p> <p>⇒ 異議がないことから、原案のとおり決定する。</p> <p>次第9 答申</p> <p>～ 曾澤次長より謝辞 ～</p> <p>次第10 その他</p> <p>次第11 閉会</p>
	<p>書記：事務局（農林生産流通課森林整備・鳥獣対策G 川田）</p>